

医療従事者からの緊急メッセージ

— 道民の皆様、札幌市民の皆様へのお願い —

道内の新型コロナウイルス感染症の感染状況は、全国的な感染急拡大の中、札幌市を中心として、感染しやすいとされる変異株による感染が増加するなど、予断を許さない状況にあります。

こうした中、特に、札幌市内の医療提供体制は、極めて厳しい状況が続いており、例年、多くの医療機関が休診となるゴールデンウィークも控え、これ以上、医療機関の負担が増えることになると、通常の怪我や救命救急の医療が受けられなくなるなど、医療提供体制が崩壊するおそれがあると考えています。

医師や看護師などの医療従事者は、これまで長期にわたり、昼夜を問わず、見えない敵と闘い続けており、現下の感染拡大の状況の中でも、大切な命を救うため、懸命に患者さんと向き合っています。

医療提供体制や医療従事者を守るため、また、何よりも自分や自分の大切な人を守るため、皆様にお願ひしたいことは、新しい取組ではなく、お一人お一人が、これまでの取組を今一度、見つめ直し、人と人との接触機会を減らすとともに、基本的な感染防止行動を徹底していただくことです。今年は、静かに過ごす特別なゴールデンウィークとしていただきますよう、よろしくお願ひします。

I 札幌市内における不要不急の外出や往来を控えてください

- 札幌市内においては不要不急の外出を控えるとともに、札幌市との不要不急の往来を控えるよう、お願ひします。具体的には、医療機関への通院、食料・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要なものを除き、外出や往来を控えてください。
- 「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の対象区域との不要不急の往来を控えるよう、お願ひします。
- 体調が悪いときには、外出を控えるよう、お願ひするとともに、重症化リスクの高い方と接する際には、リスク回避行動の徹底をお願ひします。

II 基本的な感染防止行動を徹底してください

- 変異株は感染しやすいと言われていますが、感染防止行動は、何らこれまでと変わらないものであり、引き続き、マスクの着用に加え、手洗いや手指消毒の徹底など、この機会に、基本的な感染防止行動の更なる徹底をお願ひします。

III 飲食の場面における感染リスクを低減する行動を実践してください

- 飲食の場面では、誰もがマスクを外しがちで、これによる飛沫飛散などから感染リスクが高くなるとされています。周囲の人に感染させないためにも、食事は「黙食」で、4人以内など少人数とし、長時間、深酒、大声を避け、特に、会話の際にはマスクを着用するという感染リスクを低減する行動の実践をお願ひします。

令和3年（2021年）4月27日

北海道知事 鈴木 直道
札幌市長 秋元 克広
北海道医師会会長 長瀬 清
札幌市医師会会長 松家 治道
北海道病院協会理事長 中村 博彦
北海道看護協会会長 上田 順子